【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成25年6月20日(2013.6.20)

【公開番号】特開2013-48731(P2013-48731A)
【公開日】平成25年3月14日(2013.3.14)
【年通号数】公開・登録公報2013-013
【出願番号】特願2011-188506(P2011-188506)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　5/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　5/04　５１２Ｄ
Ａ６３Ｆ　5/04　５１６Ｆ

【手続補正書】
【提出日】平成25年5月8日(2013.5.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数種の絵柄を可変表示させる可変表示手段と、
開始条件が成立したか否かを判定する開始判定手段と、
前記開始条件が成立した場合に前記絵柄の可変表示を開始させるべく前記可変表示手段を制御する開始制御手段と、
停止条件が成立した場合に前記絵柄の可変表示を終了させるべく前記可変表示手段を制御する終了制御手段と、
前記絵柄の可変表示が終了した際に前記絵柄が有効位置に所定の組合せを形成したことに基づいて、遊技状態を遊技者に有利な特別遊技状態に移行させる特別遊技状態移行手段と
を備えた遊技機において、
前記特別遊技状態が終了するまで遊技が継続されたと仮定した場合に要する所要時間を算出する所要時間算出手段と、
前記所要時間を報知する所要時間報知手段と
を備えたことを特徴とする遊技機。
【請求項２】
前記特別遊技状態の終了までに要すると想定される遊技回数を把握する第１仮想把握手段と、１遊技回を行うのに要すると想定される遊技時間を把握する第２仮想把握手段と、を備え、前記所要時間算出手段は、前記各仮想把握手段の把握結果を乗算することにより、前記特別遊技状態が終了するまで遊技が継続されたと仮定した場合に要する所要時間を算出することを特徴とする請求項１に記載の遊技機。
【請求項３】
当否判定を行う当否判定手段と、前記特別遊技状態下で前記当否判定手段の判定結果が所定結果となった回数が所定回数となった場合、前記特別遊技状態を終了させる特別遊技状態終了手段と、を備えたことを特徴とする請求項１又は請求項２に記載の遊技機。
【請求項４】
当否判定を行う当否判定手段と、前記特別遊技状態に移行した場合、前記特別遊技状態が終了するまでの遊技回数を設定する遊技回数設定手段と、前記特別遊技状態下で前記当

否判定手段の判定結果が所定結果となった場合、前記遊技回数設定手段の設定した遊技回数を増加させる遊技回数増加手段と、を備えたことを特徴とする請求項１又は請求項２に記載の遊技機。

【請求項５】

前記特別遊技状態下で特別条件が成立した場合、前記特別遊技状態の終了後に再度特別遊技状態に移行させる特別遊技状態第２移行手段を備えたことを特徴とする請求項１乃至請求項４のいずれかに記載の遊技機。

【請求項６】

前記特別条件の成立回数を記憶する成立回数記憶手段と、前記特別遊技状態が終了するまで遊技が継続されたと仮定した場合に前記特別遊技状態下で前記特別条件が成立したか否かを判定する仮想成立判定手段と、を備え、前記所要時間算出手段は、当該所要時間算出手段が前記所要時間を算出する以前の遊技回において前記特別条件が成立していた場合と、前記仮想成立判定手段が前記特別条件が成立したと判定した場合と、において、前記特別遊技状態第２移行手段が前記特別遊技状態に移行させるとともに当該特別遊技状態が終了するまで遊技が継続されたと仮定し、一連の特別遊技状態が終了するまでに要する所要時間を算出することを特徴とする請求項５に記載の遊技機。